住みたい街はどんな街？

将来の青葉区

アンケートにご協力ください。



わたしたちの青葉区を、将来どんなまちにしていきたいですか？
青葉区では、将来に向けたまちづくりの方針を示す
「青葉区まちづくり指針」の改定を進めています。
将来の青葉区について、あなたのご意見をお聞かせください。

対象◎青葉区に在住・在勤・在学の方
内容◎青葉区の魅力・将来どんなまちにしていきたいか
期間◎令和8年10月21日（水）―11月30日（月）

回答時間 約5分

回答方法は2通り
- スマホで簡単回答！
- お近くの市民利用施設の回収箱に投函 または 郵送

青葉区まちづくり指針　改定

スマホで簡単回答！

お問合せ◎青葉区区政推進課まちづくり調整担当　青葉区市ケ尾町31-4　TEL：045-978-2217

Design：NDC Graphics

青葉区まちづくり指針の改定に向けた区民アンケート

青葉区まちづくり指針の改定にあたり、青葉区の魅力や将来像などについて、区民の皆さんの声を伺うアンケートです。
設問数は全11問あります（自由記入欄含む）。回答にかかる時間は、5分程度です。全ての質問にお答えください。

内容はWEB・用紙ともに同じ内容ですので、どちらかの方法でご回答ください。

❶ WEBの回答フォームから回答

二次元コードから
フォームへアクセスし、
ご回答ください。

❷ アンケート回答用紙から回答

こちらの回答用紙にご記入の上、お近くの市民利用施設
（地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザ）の
回収箱に投函してください。

郵送の場合：〒225-0024　青葉区市ケ尾町31番地4
青葉区区政推進課まちづくり調整担当　宛

問1　あなたの年代を教えてください　　該当する選択肢の□にチェック

□ 10代以下　□ 20代　□ 30代　□ 40代
□ 50代　□ 60代　□ 70代　□ 80代以上

問2　あなたの性別を教えてください　　該当する選択肢の□にチェック

□ 男性　□ 女性　□ 回答しない

問3　お住まいのご住所の、郵便番号を記入してください

□□□-□□□□

問4　普段ご利用の駅を教えてください　　該当する選択肢の□にチェック

□ たまプラーザ駅　□ あざみ野駅　□ 江田駅
□ 市が尾駅　□ 藤が丘駅　□ 青葉台駅
□ 田奈駅　□ 長津田駅　□ 恩田駅
□ こどもの国駅　□ その他

問5　青葉区との関わりを教えてください　　該当する選択肢の□にチェック

□ 青葉区に住んでいる　□ 青葉区外から通勤している
□ 青葉区外から通学している　□ その他

問5-2　問5で「青葉区に住んでいる」と答えられた方は、住んでいる期間を教えてください　　該当する選択肢の□にチェック

□ 5年未満　□ 5年以上　□ 10年以上

問6　あなたの家族構成を教えてください　　該当する選択肢の□にチェック

□ 一人暮らし　□ 夫婦・パートナーのみ　□ 親と子（2世代）
□ 親と子と孫（3世代）　□ その他

【回答期間】 令和8年10月21日（水）― 11月30日（月）

問7 今の青葉区の好きなところ（魅力）を教えてください ※最大3つまで選択

- □ 都心までのアクセスが良い
- □ 身近な農地で採れた新鮮な農産物を食べることができる
- □ 寺家ふるさと村など、自然豊かな農景観や谷戸風景が残っている
- □ 川沿いの桜や遊歩道など、水辺に魅力的な空間がある
- □ 計画的に整備された道路や街路樹、公園が多く、美しい街並みがある
- □ 大学や高校、学習塾など、教育環境が充実している
- □ 地域のつながりやコミュニティが活発である
- □ スポーツ・文化・芸術活動が活発である
- □ 魅力的な駅前の商業施設や特色ある商店街があり、商業機能が充実している
- □ 治安が良く、安心して暮らすことができる
- □ その他 [ ]

問8 今の青葉区の気になるところ（課題）を教えてください ※最大3つまで選択

- □ 少子化・高齢化が進んでいる
- □ 管理が行き届いていない空き家・空き地が増えてきた
- □ 周辺の道路がいつも混雑している
- □ バス便の減少など、交通利便性が低下している
- □ オフィスやワークスペース等、働く場所が少ない
- □ 坂道が多く、最寄りの駅やバス停までの移動が不便だ
- □ 駅周辺の建物の老朽化、空き店舗が目立っている
- □ 身近な場所にお店がなく、日頃の買い物に不便している
- □ 緑や自然が減ってきている
- □ こどもが遊べる場所・居場所が少ない
- □ 魅力的な飲食店や店舗、商業施設が少ない
- □ 福祉的なサービスを受けることができる場所が少ない
- □ その他 [ ]

問9 将来の青葉区が「住み続けたいまち」であるために、特に重視すべきテーマはどれだと思いますか ※最大3つまで選択

- □ 豊かな緑と良好な住環境の維持
- □ 若い世代や子育て世帯に選ばれるまちづくり
- □ 障害の有無や年齢に関わらず誰もが暮らしやすい環境づくり
- □ 安全・安心な暮らしの確保
- □ 駅を中心とした、にぎわいと魅力があふれるまちづくり
- □ スポーツ・文化・芸術活動を支えるまちづくり
- □ 身近な場所で買い物・飲食ができる、生活利便性の向上
- □ 住民同士がつながり、身近な地域でのまちづくりに取り組める環境づくり
- □ ライフスタイルに合わせた、多様な働き方が選べるまちづくり
- □ その他 [ ]

問10 その他、選択肢になかった青葉区の魅力や課題、青葉区のまちづくりに関してご意見があれば自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました。

青葉区まちづくり指針を改定します。

横浜市では、2040年に向けた新たな将来都市像とまちづくりの方向性を示すため、
「都市計画マスタープラン※」の改定を進めています。
青葉区でも、将来の人口構造の変化やまちのリニューアルを見据え、
区民の皆さんから青葉区の魅力や将来のまちの姿についてのご意見をお聞きしながら、
「青葉区まちづくり指針」の改定を進めていきます。



青葉区まちづくり指針とは？

「青葉区まちづくり指針」は、将来に向けた青葉区のまちづくりの方針を示すものです。横浜市が改定を進める「都市計画マスタープラン※」は、「全市構想」と「地域別構想」の2つで構成されており、「青葉区まちづくり指針」は「地域別構想」に位置付けられています。改定後は「地域別構想」が「4エリア別の方針」と「18区別の計画」に分かれ、「青葉区まちづくり指針」は「18区別の計画」として位置付けられます。

※ 都市計画マスタープランとは

市町村の都市計画に関する基本的な方針で、「横浜市中期計画」や「地域福祉保健計画」などの各種計画とも整合を図りながら策定します。

青葉区ってこんな街！

青葉区の概況

30万人が暮らすまち

人口は市内で2位。子供も多い横浜市有数の居住エリアです。
男性の平均寿命は全国トップクラスを誇ります。

緑あふれる美しい街並み

計画的に整備された住宅地が多く、公園や街路樹、建築協定の数は市内1位。良好な住環境があります。

田園都市線沿線のまち

都心へのアクセス性が良く、たまプラーザ駅や青葉台駅を中心に、ショッピングやグルメのお店が集まっています。

都市と農が共存するまち

田んぼの面積は市内1位。
農業が身近で、採れたての地元野菜を手に取ることができます。

学びのまち

市立小学校・中学校の数が多く、学習塾などの数も市内1位。
6つの大学が立地するなど、教育環境が充実しています。

安心安全なまち

内陸部の地盤の安定した丘陵地に位置します。
犯罪発生件数が比較的少なく、地域の防犯活動も活発です。

改定スケジュール

